

リ サ イ ク ル 計 画 書（積算段階）

工事担当者が作成し、設計書に添付

1. 事業（工事）概要

発 注 機 関 名	葛南港湾事務所	工 事 名	県単港湾整備（港建特別）工事（中央埠頭野積場舗装工その2）
施 工 場 所	船橋市 潮見町	工 期（ 予 定 ）	110日間
工 事 概 要 等	工事延長 L=46.4m 舗装工 A=3,194m ²		

2. 建設資材利用計画

建 設 資 材	① 利 用 量	② 現場内利用量	③ 再生材利用量	④ 新材利用量	⑤ 再生資源利用率 (②+③)/①×100	備 考
土 砂	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	
砕 石	2490.0 トン	182.0 トン	2308.0 トン	トン	100.000 %	
アスファルト・コンクリート	2639.0 トン	トン	2330.0 トン	309.0 トン	88.3 %	
	トン	トン	トン	トン	%	

※ アスファルト・コンクリートの欄には、車道排水性及び歩道透水性舗装用アスファルト混合物の利用量は含めないものとする。

※ 最下段には、その他の再生資材を使用する場合に記入する。

3. 建設副産物搬出計画

建設副産物の種類	⑥ 発 生 量	⑦現場内利用量 (減量化量)	⑧他工事への 搬出量	⑨再資源化施設 への搬出量	⑩ストックヤード への搬出量	⑪現場内利用率 (⑦/⑥)×100	⑫有効利用率 (⑦+⑧+⑨+⑩)/⑥×100	備 考
建設発生土	第1種 建設発生土	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	%	
	第2種 建設発生土	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	%	
	第3種 建設発生土	971.0 地山m ³	97 地山m ³	地山m ³	874 地山m ³	%	100 %	
	第4種 建設発生土	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	%	
	泥土（浚渫土）	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	%	
	合 計	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	%	
コンクリート塊	トン	トン	トン	トン	—	%	%	
アスファルト・コンクリート塊	752.0 トン	トン	トン	752.0 トン	—	%	100 %	
建設汚泥	トン	トン	トン	トン	—	%	%	
建設発生木材	トン	トン	トン	トン	—	%	%	
建設混合廃棄物	トン	トン	トン	トン	—	%	%	

※ 建設発生土の区分（既存資料から判断するものとする）

①第1種建設発生土・・・砂、礫及びこれらに準ずるもの。

②第2種建設発生土・・・砂質土、礫質土及びこれらに準ずるもの。

③第3種建設発生土・・・通常の施工性が確保される粘性土及びこれらに準ずるもの。

建設発生木材の中には、伐間除根材及び剪定材を含む。

※ 建設汚泥、建設発生木材及び建設混合廃棄物の「⑦現場内利用」の欄には、上段に現場内利用、下段に現場内での減量化量を記入する。

※ 「⑩ストックヤードへの搬出量」には、他工事に再利用されることが予定される場合のみ記入する。

※ 「他工事」には、他機関の公共工事や民間工事も含む。

④第4種建設発生土・・・粘性土及びこれらに準ずるもの。（第3種建設発生土を除く）

⑤泥土（浚渫土）・・・浚渫土のうち概ねq c 2以下のもの。

リサイクル阻害要因説明書

(当初・変更)

目標値に達しない場合に作成し、設計書に添付

様式2-1

発注機関名	葛南港湾事務所	工事名	県単港湾整備（港建特別）工事（中央埠頭野積場舗装工その2）
施工場所	船橋市 潮見町	工期	110日間
工事概要	工事延長 L=46.4m 舗装工 A=3,194m ²		
リサイクル検討会 実施年月日	年 月 日実施（当初・変更）	技術管理課 報告年月日	年 月 日報告（当初・変更）

I. 建設資材利用計画

建設資材	土 砂	砕 石	アスファルト・コンクリート
[]内：目標値	[88 %]	[88 %]	[100 %]
()内：再生資源利用率	(%)	(100 %)	(88.3 %)
再生資源利用率の目標値を達成できない理由			
再生材の供給場所がない			
再生材の規格が仕様に適合しない			○
その他（下の括弧内に記入）			

その他

II. 建設副産物搬出計画

1. 建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊

建設副産物	建設発生土	コンクリート塊	アスファルト・コンクリート塊
[]内：目標値	[80 %]	[100 %]	[100 %]
()内：有効利用率又は再生資源利用促進率	(100 %)	(%)	(100 %)
目標値を達成できない理由			
他に再利用できる現場がない			
再利用できる現場の要求する規格に適合しない			
有害物質が混入している			
再資源化施設がない			
その他（下の括弧内に記入）			

その他

2. 建設汚泥、建設発生木材、建設混合廃棄物

建設副産物 [] 内：目標値 () 内：有効利用率又は再生資源利用促進率 目標値を達成できない理由	建設汚泥 [99 %] (%)	建設発生木材 [97 %] (%)	建設混合廃棄物 [60 %] (%)
他に再利用できる現場がない			
再利用できる現場の要求する規格に適合しない			
有害物質が混入している			
再資源化施設がない			
その他（下の括弧内に記入）			

その他

注）それぞれの品目で再生資源利用率、有効利用率又は再生資源利用促進率が、それぞれの目標値に達しない場合は、該当品目の理由の欄に○印を付ける。

理由の欄に該当するものがない場合には、「その他」の欄に○印を付け、下の括弧内に具体的に記述する。

※本様式は、県土整備部技術管理課へのリサイクル検討会の実施報告様式を兼ねる。